

- 問1 日本の主要な貿易港のうち、名古屋港の貿易的特徴を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2018年 愛知県公立入試 類似)
- 輸出総額が国内の港の中で最も多く、自動車や自動車部品、内燃機関などの輸出が盛んである。
 - 輸出入の合計額において成田国際空港を上回り、主に半導体などの電子部品を扱っている。
 - 京浜工業地帯の中核に位置し、輸入した原油を精製して石油製品を輸出する割合が最も高い。
 - 輸入総額が輸出総額を大きく上回っており、特に衣類や生活雑貨の輸入拠点となっている。
- 問2 中京工業地帯では自動車工業などの輸送用機械の製造が盛んですが、その生産体制を支える仕組みについて述べた文として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。 (2016年 滋賀県公立入試 類似)
- 高速道路のインターチェンジ付近に、小型で高価なIC（集積回路）を製造する工場が分散して立地している。
 - 大規模な組み立て工場の周辺に、部品を製造する関連工場が集中して立地し、効率的な生産を行っている。
 - 原材料の輸入に有利な港湾部に、石油化学コンビナートと製鉄所を集中させ、素材生産を主軸としている。
 - 古くから伝わる伝統的な技術を継承するため、小規模な職人の工房が都市部に密集して生産を行っている。
- 問3 北陸地方において、冬季の降水量が夏季の降水量を大きく上回る要因について説明したものとして、最も適切な内容を選びなさい。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
- 冬に吹く湿った南東の季節風が、太平洋側から吹き込み、奥羽山脈を越える際に大量の雪を降らせるため。
 - 冬に吹く湿った北西の季節風が、日本海上で水蒸気を補給し、山脈にぶつかって上昇気流を発生させるため。
 - 日本海側を流れる寒流の影響により、冬季に大気が不安定になり、低気圧が停滞しやすくなるため。
 - 年間を通じて吹く偏西風が、冬になると勢力を強め、大陸の乾燥した空気を直接日本列島へ運ぶため。
- 問4 日本海側の北陸地方では、冬に大量の雪が降るとい気候特性があります。この自然環境が、この地域の稲作にどのような利点をもたらしているか、その仕組みを説明したものとして適切なものを選びなさい。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
- 雪が断熱材の役割を果たし、冬の間も水田でレタスなどの高原野菜を栽培できる仕組み。
 - 雪解け水が地中の地熱を冷やすことで、夏の猛暑による稲の病気を防ぐ仕組み。
 - 冬の低温と雪によって害虫の発生が抑えられるため、夏場の肥料が不要になる仕組み。
 - 積もった雪が春に溶け出し、水田を潤すための重要な水資源として確保できる仕組み。
- 問5 製造品出荷額に占める工業分野別割合において、輸送用機械器具の割合が約半数を占め、全体の製造品出荷額等でも全国トップである愛知県の工業に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
- 自動車工業を中心に発達し、豊田市などに大きな工場が集中的に立地している。
 - 製鉄所を中心とした鉄鋼業が発展し、臨海部に巨大な重工業地帯が広がっている。
 - 石油化学コンビナートが形成され、化学工業の割合が最も高くなっている。
 - 電子部品や半導体の生産が盛んで、内陸部の高速道路沿いに工場が集積している。
- 問6 三重県に位置するある重要港湾は、統計上、輸出額が東京港に次ぐ規模に達しています。この港の輸出特性として、輸出品全体の約4分の1を自動車占め、さらに半導体等製造装置や集積回路、タイヤなどの工業製品を主に中国や韓国へ輸出しているという特徴があります。この港の名称として正しいものを選んでください。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)
- 神戸港
 - 北九州港
 - 名古屋港
 - 四日市港
- 問7 中部地方の製造品出荷額に関する統計において、愛知県は日本全国で第1位の規模を誇ります。この愛知県の工業において、出荷額の過半数を占めている主要な産業分野と、その中心的な工業都市の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2025年 兵庫県公立入試 類似)
- 金属製品の製造が盛んで、燕市などがその中心である
 - 精密機械器具の製造が盛んで、諏訪市などがその中心である
 - 輸送用機械器具の製造が盛んで、豊田市などがその中心である
 - 化学工業の製造が盛んで、四日市などがその中心である
- 問8 中部地方のある県の統計において、人口が約八十五万人と比較的少なく、農業産出額に占める果物の割合が野菜や米を大きく上回っている県があります。この県の農業の特色について説明したものとして正しいものはどれですか。 (2016年 兵庫県公立入試 類似)
- 高冷地でのレタスやキャベツの栽培が中心で、保冷トラックを用いて大消費地へ出荷している。
 - シラス台地が広がる地形を活かして、さつまいもの生産や畜産業が大規模に行われている。
 - 扇状地を利用してぶどうなどの生産が盛んであり、消費者に収穫体験を提供する観光農園も多く見られる。
 - 日照時間が長い沿岸部の傾斜地を利用して、茶の栽培が盛んに行われ、全国的なブランドとなっている。
- 問9 中部地方の都道府県について説明した次の文のうち、県名と県庁所在地名に関する記述として適切なものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- 東海地方の愛知県では、工業都市として知られる豊田市に県庁が置かれている。
 - 北陸地方の石川県では、江戸時代の城下町として栄えた金沢市に県庁が置かれている。
 - 日本海側の福井県では、港町として発展した敦賀市に県庁が置かれている。
 - 中央高地に位置する長野県では、かつての中心地であった松本市に県庁が置かれている。
- 問10 富山ライトレール（LRT）の導入において、高齢者や子供を含む幅広い世代が利用しやすくなるよう、運行サービスの向上とともに進められた物理的な工夫として正しいものを次の中から選びなさい。 (2016年 長野県公立入試 類似)
- 郊外からのアクセスを優先するため、市街地の駅を廃止して停車駅を絞り込んだ。
 - 駅の滞在時間を短縮するため、全ての駅に階段とエスカレーターを設置した。
 - 一度に多くの乗客を運ぶため、車両の連結数を増やして大型化した。
 - 乗降時の負担を減らすため、ホームとの段差をなくした低床車両を導入した。
- 問11 石川県を含む日本海側の地域では、農業産出額において米の占める割合が高い傾向にあります。この地域で稲作が盛んになった地理的な背景として、自然環境の面から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
- 冬の季節風による積雪が、春先の農繁期に豊富な農業用水をもたらすため。
 - 広大な平野部が広がり、一年中高湿多湿な気候を利用した二期作が行われているため。
 - 年間を通じて降水量が極めて少なく、乾燥に強い稲の品種改良が進んだため。
 - 夏に「やませ」と呼ばれる冷たい風が吹くことで、稲の成長が促進されるため。
- 問12 北陸新幹線が通過する各県の統計において、多くの面積を険しい山地が占める中、沿線の平野部では農業や工業が発展しています。福井県から富山県を経て長野県へと至る交通網の整備において、その険しい地形から大きな障壁となってきた、中部地方北部に位置する山脈について述べたものとして正しいものを選びなさい。 (2024年 福井県公立入試 類似)
- 赤石山脈は、北陸新幹線の沿線に位置し、関東地方と中部地方を分ける脊梁山脈として機能している。
 - 奥羽山脈は、中部地方を南北に縦断しており、北陸新幹線のトンネル建設において最大の難所となった。
 - 飛騨山脈は、新潟・富山・岐阜・長野の県境付近に位置する峻険な山脈であり、北アルプスと呼ばれている。
 - 木曽山脈は、福井県から石川県にかけての海岸線に沿って広がる山脈であり、北陸地方の気候に影響を与えている。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 輸出総額が国内の港の中で最も多く、自動車や自動車部品、内燃機関などの輸出が盛んである。	名古屋港は、背後地である愛知県を中心とした中京工業地帯に世界的な自動車産業の集積があるため、日本最大の輸出額を誇る港となっています。貿易統計においても、自動車やその関連部品、エンジン（内燃機関）が輸出上位を占めているのが最大の特徴です。横浜港や東京港と混同されやすいですが、自動車輸出の圧倒的な多さから判断することができます。
問2	答え 2 大規模な組み立て工場の周辺に、部品を製造する関連工場が集中して立地し、効率的な生産を行っている。	自動車は数万点に及ぶ膨大な数の部品から構成されるため、最終的な組み立てを行う工場の近くに、それらの部品を供給する関連工場が多数集まることで、輸送コストの削減や在庫管理の効率化を図っています。このような関連工場との密接な連携が、中京工業地帯における強固な機械工業の基盤となっています。
問3	答え 2 冬に吹く湿った北西の季節風が、日本海上で水蒸気を補給し、山脈にぶつかって上昇気流を発生させるため。	日本海側の気候では、季節風が最も重要な要因となります。冬、シベリア高気圧から吹き出す冷たく乾燥した北西の季節風は、日本海を渡る際に暖流の対馬海流から大量の水蒸気を取り込みます。この湿った空気が日本列島の脊梁山脈（烏海山や越後山脈など）にぶつかって上昇することで雲が発達し、日本海側に雪や雨をもたらします。一方、山を越えた後の風は乾燥するため、太平洋側では冬に晴天が多くなります。
問4	答え 4 積もった雪が春に溶け出し、水田を潤すための重要な水資源として確保できる仕組み。	北陸地方の稲作において、冬の降雪は「天然のダム」としての役割を果たします。山地に積もった大量の雪が春から初夏にかけて徐々に溶け出すことで、田植えの時期に必要な大量の水を安定して供給することができます。この雪解け水という安定した水源があることが、北陸地方で単作（年1回の稲作）による大規模な米作りが発展した背景にあります。
問5	答え 1 自動車工業を中心に発達し、豊田市などに大きな工場が集中的に立地している。	製造品出荷額が全国1位の愛知県では、豊田市などを中心に自動車工業が著しく発達しています。石油化学コンビナートが盛んなのは三重県や山口県などであり、電子部品・半導体は九州地方や東北地方などの特徴となります。
問6	答え 4 四日市港	三重県の日市港は、中京工業地帯における重要な物流拠点です。かつては石油化学コンビナートが中心でしたが、現在は高度な技術を用いた半導体関連製品や自動車の輸出が盛んであり、輸出額は全国でもトップクラスに位置しています。特に地理的に近い中国や韓国が主要な貿易相手国となっている点が現代の特色です。
問7	答え 3 輸送用機械器具の製造が盛んで、豊田市などがその中心である	愛知県は自動車工業を中心とした「輸送用機械器具」の生産が極めて盛んで、出荷額は長年にわたり全国1位を維持しています。特に豊田市は、世界的な自動車メーカーの本社や工場が集積する企業城下町として知られています。精密機械は主に長野県、金属製品（カトラリー等）は新潟県の特色であるため、愛知県の特色と正しく区別する必要があります。
問8	答え 3 扇状地を利用してぶどうなどの生産が盛んであり、消費者に収穫体験を提供する観光農園も多く見られる。	統計に示された人口規模や農業産出額の内訳から、この県は山梨県であると判断できます。山梨県はぶどうや桃の生産量が日本トップクラスであり、その多くは甲府盆地周辺の扇状地で栽培されています。また、東京などの大都市圏に近い立地を活かし、単に生産・出荷するだけでなく、消費者が直接訪れて果物狩りを楽しむ「観光農園」が数多く運営されていることも大きな特徴です。
問9	答え 2 北陸地方の石川県では、江戸時代の城下町として栄えた金沢市に県庁が置かれている。	石川県は、加賀藩の城下町であった金沢に県庁が置かれたため、県名と県庁所在地名が異なります。一方、愛知県の県庁所在地は名古屋市（尾張藩の城下町）であり、豊田市ではありません。また、長野県の県庁所在地は長野市、福井県の県庁所在地は福井市であり、いずれも県名と都市名が一致しています。中学地理では、中部地方において「名称が異なる県」を正確に把握しておくことが重要です。
問10	答え 4 乗降時の負担を減らすため、ホームとの段差をなくした低床車両を導入した。	LRT（次世代型路面電車システム）の大きな特徴は、低床車両の導入によるバリアフリー化です。これにより、高齢者や車椅子利用者もスムーズに乗降できるようになり、利便性が高まりました。一方で、駅（電停）の数は削減されるところか、利便性を高めるために新設される傾向にあり、車両の大型化ではなく「高頻度な運行」によって輸送能力と利便性を確保しています。
問11	答え 1 冬の季節風による積雪が、春先の農繁期に豊富な農業用水をもたらすため。	石川県などの日本海側の地域では、冬に湿った季節風の影響で大量の雪が降ります。この積雪は春になると雪解け水となり、稲作に不可欠な灌漑用水（農業用水）として利用されます。このような自然のサイクルが、北陸地方を日本有数の穀倉地帯へと発展させました。なお、やませは東北地方の太平洋側に吹く風であり、二期作は主に高知県などの温暖な地域で見られる特徴です。
問12	答え 3 飛騨山脈は、新潟・富山・岐阜・長野の県境付近に位置する峻険な山脈であり、北アルプスと呼ばれている。	中部地方の地形は、中央部の高い山々とそこから流れる河川によって形成されており、特に飛騨山脈は北陸地方と内陸の信州（長野県）を隔てる大きな壁となってきました。この山脈は「北アルプス」と呼ばれ、北陸新幹線はこの山脈を迂回、あるいはトンネルによって貫くことで、首都圏と北陸地方の移動時間を大幅に短縮しました。赤石山脈は「南アルプス」であり、奥羽山脈は東北地方に位置します。また、木曽山脈は「中央アルプス」と呼ばれ、飛騨山脈よりも南側に位置しています。